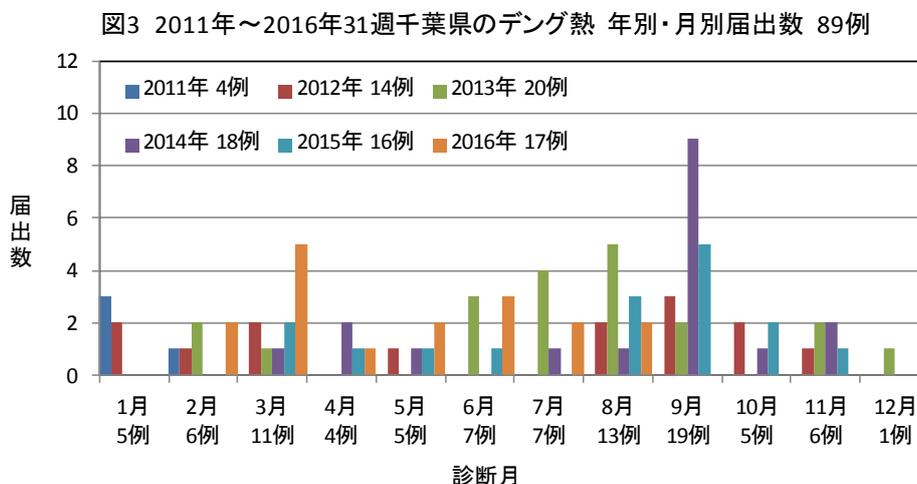


デング熱

千葉県では、2011年から2016年31週に89例の届出があった(表1)。8月、9月は、比較的届出が多い傾向にあるため、89例の発生状況をまとめた(図3)。



性別では、男性54例(60.7%)、女性35例(39.3%)であった。

年齢群別では、30代28例(31.5%)、20代19例(21.3%)、40代18例(20.2%)が多かった。

病型別では、デング熱88例、デング出血熱1例であった。

患者89例の症状等は、発熱73例(82.0%)、2日以上続く発熱53例(59.6%)、頭痛52例(58.4%)、白血球減少44例(49.4%)、血小板減少40例(44.9%)、発疹37例(41.6%)、血小板減少(10万/mm³以下)27例(30.3%)、骨関節痛26例(29.2%)、全身の筋肉痛18例(20.2%)、血清蛋白の低下4例(4.5%)、出血2例(2.2%)、Tourniquetテスト陽性2例(2.2%)、ヘマトクリットの上昇1例(1.1%)の記載があった(複数報告あり)。

診断方法として報告されたのは、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出63例(70.8%)、血清での非構造蛋白抗原(NS1)の検出45例(50.6%)、血清IgM抗体の検出及びペア血清での血清IgM抗体の検出23例(25.8%)、分離・同定による病原体の検出9例(10.1%)、ペア血清での中和抗体の検出1例(1.1%)であった(複数報告あり)。

推定又は確定された感染地域は、2014年に届出された7例が国内、その他82例は国外であった。国外として報告された82例では、インドネシア25例(30.5%)、フィリピン16例(19.5%)、タイ9例(11.0%)、インド8例(9.8%)が多かった(複数報告あり)。

表1 2011年～2016年31週千葉県のデング熱性別・感染地域別・年齢群別届出数

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	合計	
性別	男性	3	7	10	13	11	10	54
	女性	1	7	10	5	5	7	35
感染地域別	国外	4	14	20	11	16	17	82
	国内	0	0	0	7	0	0	7
年齢群別	5歳未満	0	1	0	0	0	0	1
	5～9歳	0	1	2	0	0	0	3
	10代	0	0	1	4	2	0	7
	20代	3	3	2	1	4	6	19
	30代	1	7	6	5	5	4	28
	40代	0	1	6	3	3	5	18
	50代	0	0	2	2	1	0	5
	60代	0	1	0	2	1	2	6
	70代	0	0	1	1	0	0	2
	80歳以上	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	14	20	18	16	17	89	